

2025 年 6 月 25 日

システムワークフロー検討作業部会

システムワークフロー検討作業部会 2025 年度活動計画（案）

2025 年度においては、下記の(1)～(9)に掲げた目標を達成すべく活動を行うものとする。

(1) 国内外電子ブックの目録化とデータ流通の推進

- Bibdata・EBook のダウンロード機能の実装に向けた開発を開始すること
- Bibdata・EBook の書誌レコードと図書館システムとを連携させるための API を実装すること
- Bibdata・EBook の「所蔵」を収集する仕組みの実装に向けた開発を開始すること
- 「ALA-LC ローマナイズ体系（ALA-LC Romanization Tables）」に基づくローマ字表記を用いて、Bibdata・EBook の書誌レコードが検索できる仕組みを検討、設計すること
- 国内外電子ブックの書誌レコードの収集、共有、流通について、出版社や電子ブックのプラットフォームベンダーと引き続き調整を行うこと
- ユーザーグループ運営作業部会と協力し、オンラインの勉強会・座談会を設け、各機関実務者・関係者同士での意見交換を行うこと
- AI など新たな技術の導入や活用に関する検討を行うこと

(2) 次期 ILL システムの機能強化

- 次期 ILL システムの機能強化に向けて料金決済モデルの検討、NII 担当者やユーザーグループとの情報共有・意見交換、電子的送信に関する調査・調整を行い、次期 ILL システムに求める要件を具体化すること
- 次期 ILL システムの中で、シェアードプリントの実現に必要な要件を具体化すること
- 次期 ILL システムの中で、DDS や Rapid ILL 等の外部システムとの連携の可能性について検討を行うこと
- 共同利用システム上で実現する統合的発見環境に関する検討を行うこと
- AI など新たな技術の導入や活用に関する検討を行うこと

(3) 国内デジタルアーカイブの流通促進

- 電子リソースデータ共有サービス（以下、NII-DEER）（MARC21）から IRDB（JPCOAR スキーマ）等へのメタデータ変換による提供方法等を検討すること
- 各機関からの実際のメタデータ収集方法を検討すること
- 「NII-DEER」をつなぎ役として、デジタルアーカイブのメタデータを共有する機能をテスト稼働させること

- ユーザーグループ運営作業部会と協力しオンラインの勉強会・座談会を引き続き行い、各機関実務者・関係者同士での情報共有と意見交換を行うこと
 - AI など新たな技術の導入や活用に関する検討を行うこと
- (4) 目録・メタデータ
- MARC21、BIBFRAME など、新しいメタデータフォーマットの変更やデータの共有についての調査および検討
 - NCR2018 適用によるコーディングマニュアル、適用細則、目録情報の基準の改訂内容にかかわるユーザーグループ等からの質問対応
 - 「著作」の単位について、国内関係組織と調整・検討を行うこと
- (5) 電子リソースデータ共有
- NII-DEER から海外ナレッジベースへの連携方法を引き続き検討すること
 - 「License-Public」に該当するライセンスのメタデータを検討し、国内ベンダーからの収集を開始すること
- (6) 共同利用システムの安定運用の継続
- 「License-JUSTICE」等の安定的な運用・管理を引き続き継続すること
- (7) 次世代検索サービスの検討
- 利用者による情報の発見可能性を高める次世代検索サービスについて、AI など新たな技術の導入に関する検討を行うこと
 - 統合的発見環境の実現に向けて必要な要件をまとめて具体化し、CiNii Researchでの実装に向けて提案を行うこと
- (8) 図書館システム整備
- 2024 年度に公開した「図書館システムガイドライン」について、NII-DEER の図書館システムでの活用等、ガイドラインに記載した機能の図書館システムへの実装を推進する活動を行うこと
 - AI を用いた目録作成等の活用場面に関する検討を行うこと
- (9) メタデータの多様化に対応できる人材の育成
- 多様化するメタデータを適切に理解し、AI や API 等を活用しつつ、学術情報システムと連携させて扱うことのできる人材を体系的に育成するための検討を行うこと
 - メタデータの多様化に対応できる人材に望まれる技術・技能について、習得のための教材の検討を行うこと

以上